

日本国環境大臣とインドネシア共和国海事・投資調整大臣  
との共同声明（仮訳）

2021年2月18日、インドネシア共和国ルフット・パンジャイタン海事・投資調整大臣と日本国小泉進次郎環境大臣は、オンラインによる会談を行った。

両大臣は、2019年6月27日に発出された大臣間の共同声明に述べられていた、現在の政策や環境分野の協力について意見交換した。特に以下の課題について議論を行った。

1. 廃棄物処理に関する協力

廃棄物処理施設の普及を加速するために、両大臣は、政策強化とプロジェクト実施の両面で、協力を強化することを決定した。

これに関して、両大臣は下記の発展について努力を継続する。

- 政策強化：具体的成果目標を伴った廃棄物処理施設に関する合同委員会の定期的な開催を通じた、環境や事業スキームの分野に関する、協力の促進
- プロジェクト実施：
  - レゴック・ナンカ・プロジェクトに対する継続的な支援に加え、西ジャワ州知事の要請に応じて実施するブカシ県、カラワン県、プルワカルタ県（ブカルプール）地域における廃棄物処理プロジェクトの新規の実施可能性調査（FS）を念頭においた、チタルム川流域における廃棄物処理の強化
  - チペウカン最終処分場のリハビリテーションによる、南タンゲランにおける廃棄物処理プロジェクトへの支援の開始

2. 海洋プラスチックごみに関する協力

両大臣は、下記を含む、海洋プラスチックごみに関する協力の進捗を認識

し、この展望を共有した。

- ジャワ海における共同モニタリング活動と、漂流マイクロプラスチックのモニタリングガイドラインの策定
- 今月の海洋プラスチックごみに関するASEANワークショップの共同開催、モニタリングデータの共有に関する将来の計画、日本の開発するデータ共有プロジェクトへの専門家の参加、「東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）」における「海洋プラスチックごみに関するナレッジセンター」による海洋プラスチックごみに関する官民連携促進のために新たに設立されたプラットフォームを通じた協働を含む地域協力の進展

### 3. チタルム川水質汚染に関する協力

両大臣は、チタルム川水質汚染管理の改善の取組を推進することを決定した。

両大臣は、本事案に関する、政策立案者を対象とした継続的な能力構築の重要性について、考えを共有した。両大臣はまた、日本からの水処理技術の導入の検討を認知した。

両大臣は、持続可能な開発に関する相互協力の強化に対して、力強いコミットメントを表明し、廃棄物処理施設に関する合同委員会や他のハイレベル会合を通じて、こうした行動を確認していくことを決定した。

両大臣は更に、現在進行中である、インドネシアと日本の間の環境協力に関する協力覚書を完成させることについて、支持を表明した。